



3月のほけんだより

令和6年3月1日 竜王西保育園

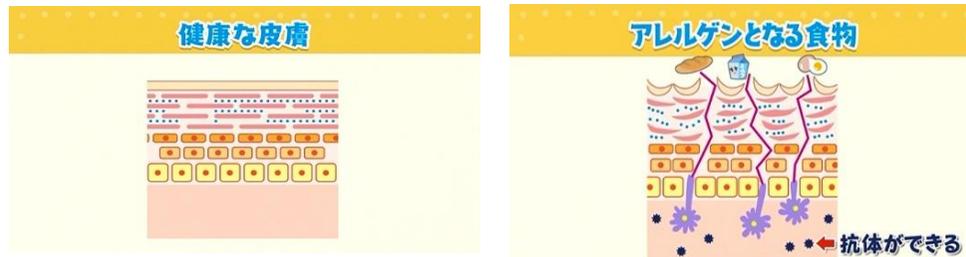
今年度も残すところあと1ヶ月となりました。1年を思い起こし、子どもたちのひとりひとりの表情、行動にあらためて大きな成長を実感しています。みんな元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月、大切に過ごしましょう。また、最近は鼻水のでている子どもが多くなりました。透明な鼻水が長く続く場合は放置せず、花粉症のおそれがありますので、病院受診をしましょう。

子どものスキンケアについて

皮膚が荒れたり湿疹があると、アレルギー(アレルギーの原因となる物質)となる食物の成分が、皮膚から体内に入ります。すると、体内では、それを異物とみなして排除しようとする抗体がつくられてしまいます。

そのため、次にその食物を食べたときに、抗体が「異物が入ってきた!」と過剰に反応し、アレルギーを引き起こすことがわかってきています。

その為、一年中全身のスキンケアが必要です。



子どもの主な肌荒れの原因は、病原体(細菌やウイルスなど)汗、紫外線、乾燥によるかゆみ、よだれ、尿や便などがあげられます。自宅で洗浄・保湿・保護をしても肌荒れが改善しない場合は、放置せずに皮膚科や小児科受診をお願いします。

また、入浴時には、できれば弱酸性の泡ソープで優しく洗っていただき、保湿をして、常にきれいな皮膚を保ちましょう。

2月は溶連菌感染症が園内で流行しました。

溶連菌ってどんな病気? 確認してみましょう!

主に“のど”に感染して、咽頭炎や扁桃炎、それに小さく紅い発疹を伴います。



その他に頭痛、首すじのリンパ節の腫れ、腹痛や嘔吐などの腹部症状もみられます。

<検査可能> 病院で10分ほどの検査にて、感染の有無が確認できます。

<お薬> 熱やのどの痛みといった症状をやわらげるお薬や抗生薬が出されます。抗生薬は溶連菌を退治する大変重要です。

<登園の目安> 抗生薬を内服後、24時間が経過し、熱がなく食欲があり、元気があれば登園できます。登園時に登園届をしてください。

<抗生薬が重要> 確実に溶連菌を退治し、重大な続発症(合併症)※を引き起こさないために、症状が消えても抗生薬は、医師の処方どおりに最後まで飲みきることが大切です。



<家庭内の中で気をつけること> “のど”に刺激の強いものは避け、のどごしがよく、消化のよい食べ物がよいです。



- 熱いもの
- 冷たすぎるもの
- 辛いもの
- すっぱいもの
- にかいもの



- のどごしがよいもの
ゼリー、ヨーグルト、パパロア、プリン、ポタージュスープなど
- 消化のよいもの
お粥、パン粥、煮込みうどん、煮た野菜(ほうれんそう、にんじん、大根、じゃがいもなど)、豆腐、茶碗蒸し、白身の魚など

溶連菌感染症の再発と家族への感染

溶連菌感染症は、繰り返しかかることもあります。大人もかかります。

咳やくしゃみなどによって近くの人に感染(飛沫感染)することがあります。

また、溶連菌に汚染された食品が原因のこともあります。

一人がかかったら家族、特に一緒に遊んでいる兄弟への感染に注意が必要です。